



令和5年度
6月号

★教育目標 郷土を愛し、未来を築く人間の育成
・健康な生徒(体) ・創造する生徒(知) ・実行する生徒(意) ・感動する生徒(徳・情)

★重点教育目標 「自ら学び 心豊かに 貢献できる生徒」の育成

二海郡八雲町東雲町 31 番地1

E-mail: yakumo-jh@town.yakumo.hokkaido.jp

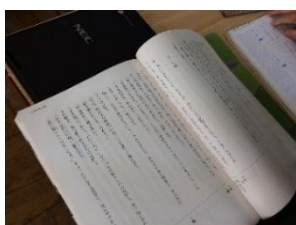
「読解力の育成について」

校長 柴野 貴史

渡島中体連各種大会は天候に恵まれ、生徒たちはそれぞれの競技において、練習の成果を遺憾なく発揮するとともに、チームが一つになって戦いを繰り広げてくれました。勝つ喜び、負ける口惜しさなどを経験、多くのことを学び成長を遂げたことでしょう。生徒たちの光り輝く瞬間を目のあたりにして多くの感動を覚えました。本当にありがとうございます。



さて、八雲町では、全ての教科等に関わる基礎的・汎用的な読解力を育成し、学力向上を図るため八雲町授業改善「八雲スタイル」を推進しております。読解力とは、文書等から必要な情報を正確に取り出し、比較・関連づけて読み取り、その意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決、表現する力のことです。2040年に到来する「超スマート社会」は社会のあり方そのものが大きく変化すると予測されております。このような社会で生き抜くために必要な「生きる力」を育てる必要があります。



八雲町では全国学力・学習状況調査等の結果から、文章やテキスト、図表を正しく読めていないため、問われていることに正しく答えることができているということが分析で明らかとなり「生きる力」の三要素である資質・能力の育成が必要であると考え、主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を進める中で、文章等から必要な情報を正確に読み取り、理解・表現する力を基盤とした学力を身に付けさせることとしました。

本校においても、ICT 機器を効果的に活用することはもちろんのこと、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進め、主体的・対話的で深い学び、並びに基礎的・汎用的読解力の育成の視点で授業改善を進めているところです。具体的な取組として基礎的な読む力を図るリーディングテストを活用した実態把握を行うとともに、八雲町小・中学校共通実践事項を進めます。また、独自の取組として「MST (マイ スタディ タイム)」の時間を活用して読書活動を行います。短時間ではありますが、毎日行うことで読書の習慣化を図るとともに、様々なジャンルの読み物に親しませる機会を設けております。今後、全町の各学校で進めている取組等で研究・研修を深め、学力向上に資するものとなるよう実践を積み重ねてまいります。各教科で毎時間、読んだり、書いたりする学習活動をより多く行うことを意識して読解力の育成を図っております。

天候やコロナの影響も受けず体育行事や中体連大会も無事終了しましたが、コロナの定点当たりの報告数(6月12～18日)が、八雲保健所管内では15.33と全道の5.71を大きく上回る発生状況になっております。過度に恐れる必要はありませんが、家庭においても定期的に換気を行い、こまめに手洗いをを行うなどの感染症対策を引き続き行うようお願いいたします。

